

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福井市デジタル田園都市構想推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

3 地域再生計画の区域

福井市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1995年の272,970人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2023年には257,911人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が213,712人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の60,804人をピークに減少し、2023年には32,067人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の26,573人から2023年には76,156人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1995年の183,847人をピークに減少傾向にあり、2023年には149,688人となっている。

自然動態をみると、出生数は1994年の2,855人をピークに減少し、2021年には1,938人となっている。その一方で、死亡数は2021年には3,104人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲1,166人（自然減）となっている。また、合計特殊出生率は、2021年は1.56となり、県平均の1.57に比べて低くなっている。

社会動態をみると、2017年には転入者（7,700人）が転出者（7,552人）を上回る社会増（148人）であった。しかし、全国的に東京への人口一極集中の傾向が強まる中、東京都への転出超過数がこの5年で約2倍に拡大し、2021年には▲766人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然

減) や、転出者の増加 (社会減) 等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域のコミュニティ機能の希薄化等による地域活力の低下、ものづくり産業や農林水産業等の担い手不足による地域経済の衰退等が懸念される。

これらの課題に対応するため、若い世代の男女が出会うきっかけづくりや、結婚、出産に対して希望が持てる施策展開、子育ての面でのサポート等を行い、自然増の向上につなげる。また、若者の転出超過が大きいことから、若者にとって魅力ある仕事やまちづくりを進めるとともに、UIターン施策の集中的な展開に加え、将来的な移住に向けた裾野を広げる観点から、関係人口の増加を目指したアプローチ等を通じて、社会減に歯止めをかける。

これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 新たなチャレンジを応援し、みんなが生き活きと働ける場づくり
- ・基本目標 2 福井と関わり、繋がることで新たなひとの循環が生まれるまちづくり
- ・基本目標 3 結婚・出産・子育てに希望がもてる全国トップクラスの環境づくり
- ・基本目標 4 時代に合った、全国に誇れる、住みごこち満点のまちづくり

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開 始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与す る地方版総合 戦略の基本目 標
ア	新規就業場所創出数 (累計)	0 人	480 人	基本目標 1
イ	転出超過数	▲269 人	▲161 人	基本目標 2
	市内観光客入込数 (単年度)	324 万人	418 万人	
ウ	合計特殊出生率	1.56	1.72	基本目標 3
エ	福井市に住み続けたいと思う市民の割合	83.4%	86%	基本目標 4

	幸福だと感じている市民の割合	数値無し	74%	
--	----------------	------	-----	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

福井市デジタル田園都市構想推進事業

ア 新たなチャレンジを応援し、みんなが生き活きと働ける場づくり事業

イ 福井と関わり、繋がることで新たなひとの循環が生まれるまちづくり事業

ウ 結婚・出産・子育てに希望がもてる全国トップクラスの環境づくり事業

エ 時代に合った、全国に誇れる、住みごこち満点のまちづくり事業

② 事業の内容

ア 新たなチャレンジを応援し、みんなが生き活きと働ける場づくり事業

産業の高付加価値化やDXによる生産性向上に積極的に取り組むことで、みんなが生き活きと働ける「しごと」と「雇用」を創出する事業

【具体的な事業】

- ・企業立地の推進や創業支援による雇用創出
- ・新製品開発、新分野への展開等のチャレンジ支援や事業継承、知的財産権の活用への支援
- ・DXを活かした生産性向上と働きがいのある職場環境づくりの促進
- ・農林水産物のブランド化、6次産業化、ICTやAIの利活用の促進 等

イ 福井と関わり、繋がることで新たなひとの循環が生まれるまちづくり事業

転出した学生や地方に関心を示す社会人等のライフステージに応じた支援のほか、移住につながる関係人口の創出や、交流人口の拡大、本市の認知度向上に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 学生・社会人への就職支援、移住支援金の支給等による移住促進
- ・ ワークেশョンの推進やふるさと納税等による関係人口の創出
- ・ 観光施設のアクセス等に関する環境整備、体験型コンテンツの充実、民間アリーナ構想の支援等による交流人口の拡大
- ・ 北陸新幹線の福井開業を契機とした首都圏や外国人に向けたプロモーション、観光おもてなし市民運動の推進 等

ウ 結婚・出産・子育てに希望がもてる全国トップクラスの環境づくり事業

こどもを産み育てやすい環境づくりのほか、ワーク・ライフ・バランスの確保等、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶えることに資する事業

【具体的な事業】

- ・ 出会いから交際、結婚に至るまでの支援のほか、妊娠期から子育て期までの相談体制の整備等、切れ目ない支援の充実
- ・ 保育施設の環境整備、保育人材の確保、子育て支援拠点の整備等による家庭や地域全体でこどもを支える環境づくり
- ・ 教職員の指導力向上、こどもの体力・健康増進、外国語教育の推進によるこどもたちが将来への希望を持てる教育環境づくりの推進
- ・ あらゆる分野において女性が活躍できる環境整備や、男女がともに仕事と家庭を両立できる環境づくり 等

エ 時代に合った、全国に誇れる、住みごこち満点のまちづくり事業

自然災害に強く、安心して住み続けることができる社会基盤整備のほか、全ての市民が多様性を認め合い、活躍できる共生社会の推進に資する事業

【具体的な事業】

- ・市街地再開発の支援、地域公共交通の充実等によるにぎわいのあるまちづくり
- ・暮らしを守る防災、社会インフラの整備
- ・環境教育やごみ排出量の抑制に向けた取組のほか、空き家の利活用等による生活環境の改善
- ・外国人と日本人双方が暮らしやすいまちづくりのほか、地域における居場所づくりやボランティア活動支援による共生社会の推進 等

※ なお、詳細は福井市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

651,000千円（2023年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に、大学、金融機関、関係行政機関、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上にて公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで